

果樹カメムシ類の発生予測

令和8年9月28日
静岡県病害虫防除所

●10月の発生予測

- ・県全体で**平年より多い**と予想される。**(8/26注意報発表)**→



●令和8年(2026年)における発生状況 (9/25時点)

- ・ヒノキで増殖した新成虫の発生が急増しており、9月以降も地域により発生がさらに増加している。
- ・9月中旬以降、西部・中部での大量飛来も確認されている。引き続き、**大量飛来に最大限の警戒を払う。**
- ・県内4か所の予察灯における9月の合計誘殺数は**平年より多かった。**
- ・県内6か所のフェロモントラップにおける9月の合計誘殺数は**平年より多かった。**
- ・ヒノキ球果の着果量は、**平年より多かった。**(着果量が多いと新成虫の増殖は助長)
- ・9月のヒノキ球果における寄生数は**平年より多い(9月としては1996年以降で過去最多)。**
- ・9月のヒノキ球果におけるカメムシ吸汁痕数／球果は**平年より多かった。**9月の調査では6割以上の調査地点で球果からの離脱の目安となる20を超え、既に飛来が始まっていると推測される。

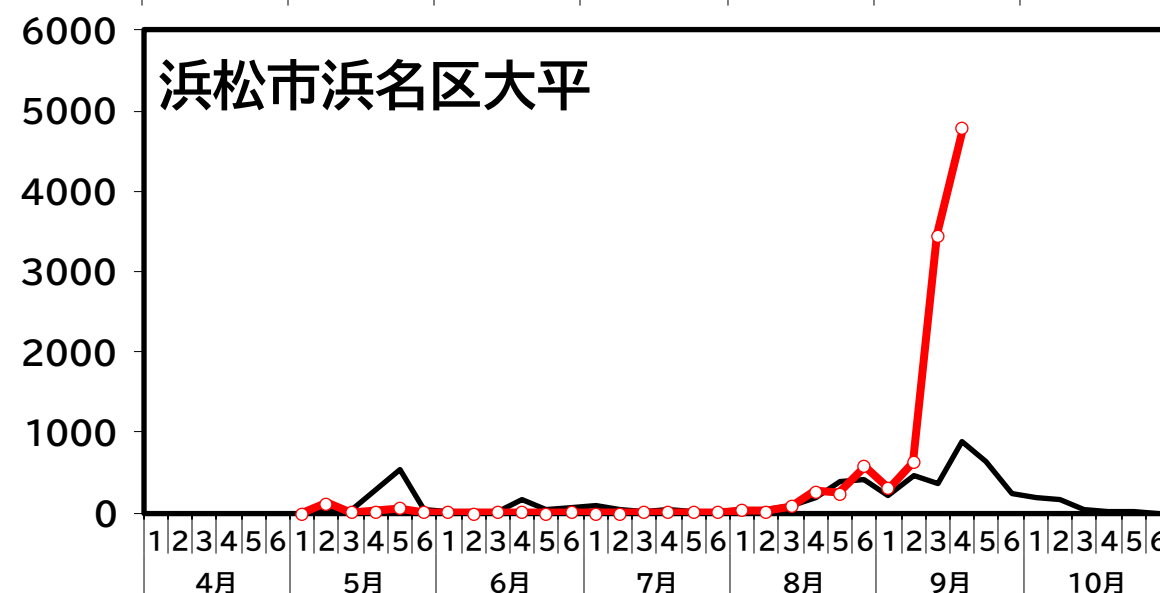
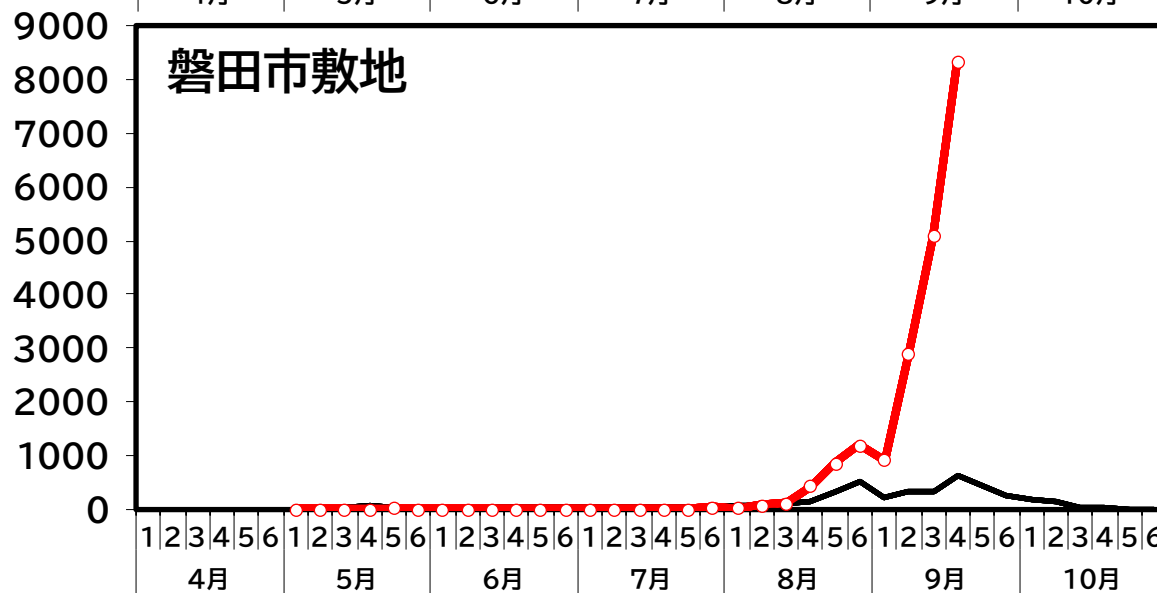
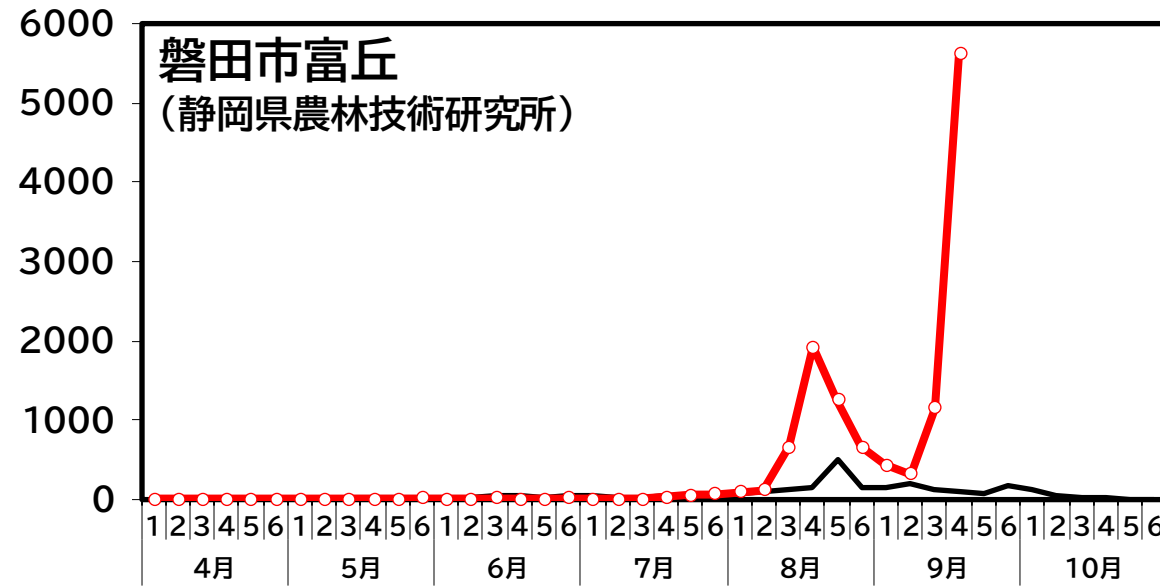
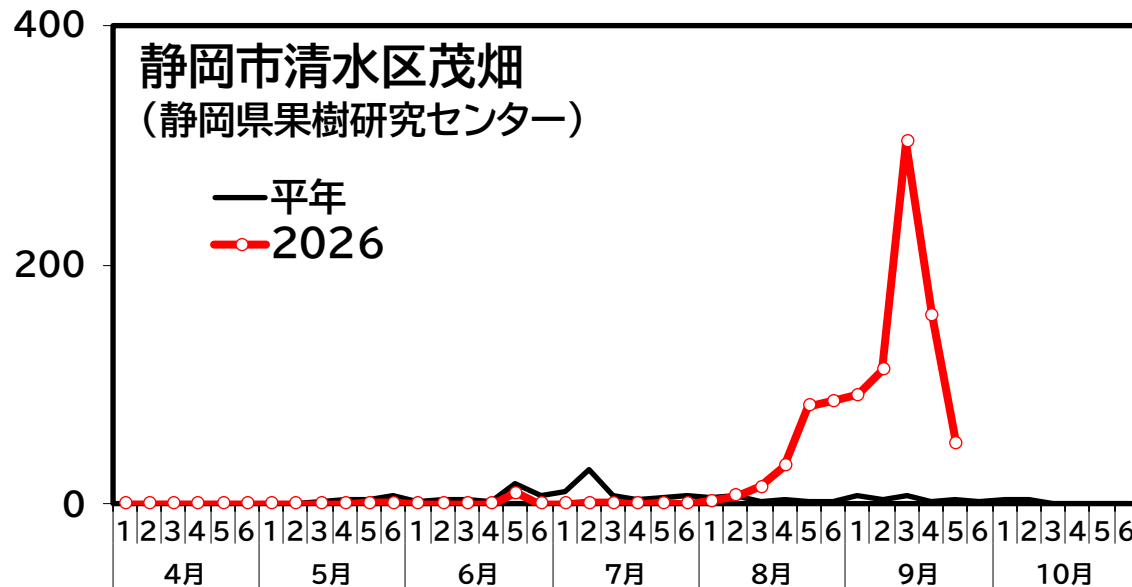


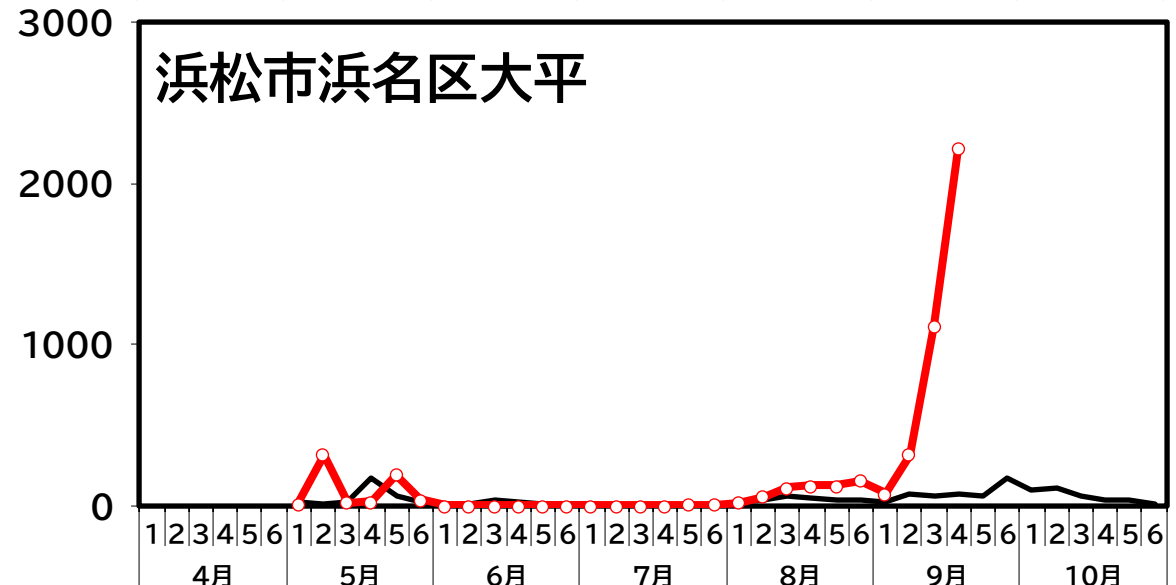
チャバネアオカメムシ 予察灯 2026年



注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

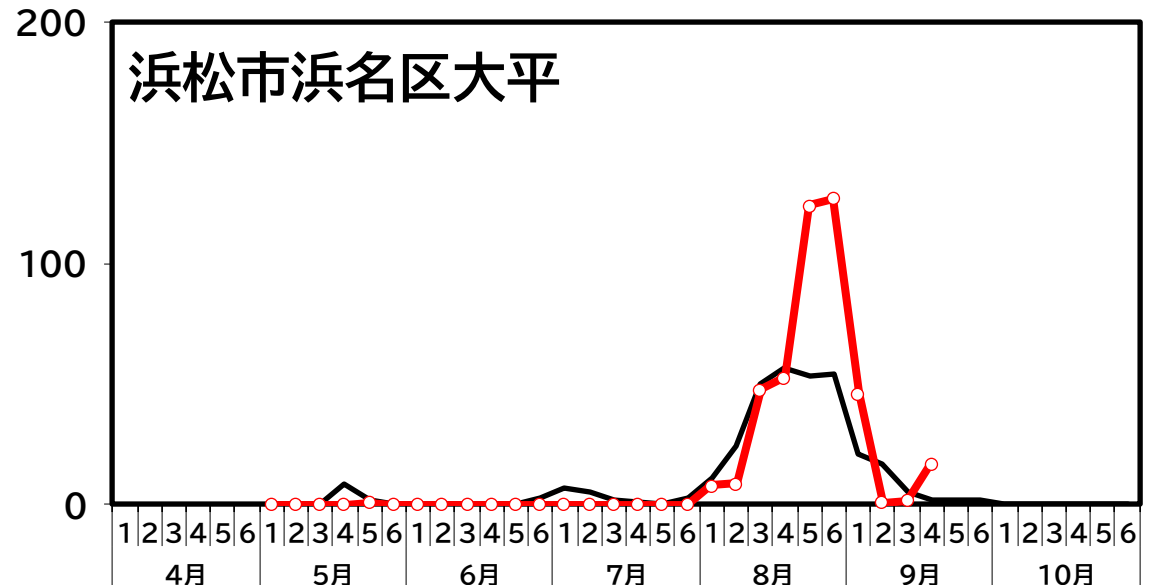
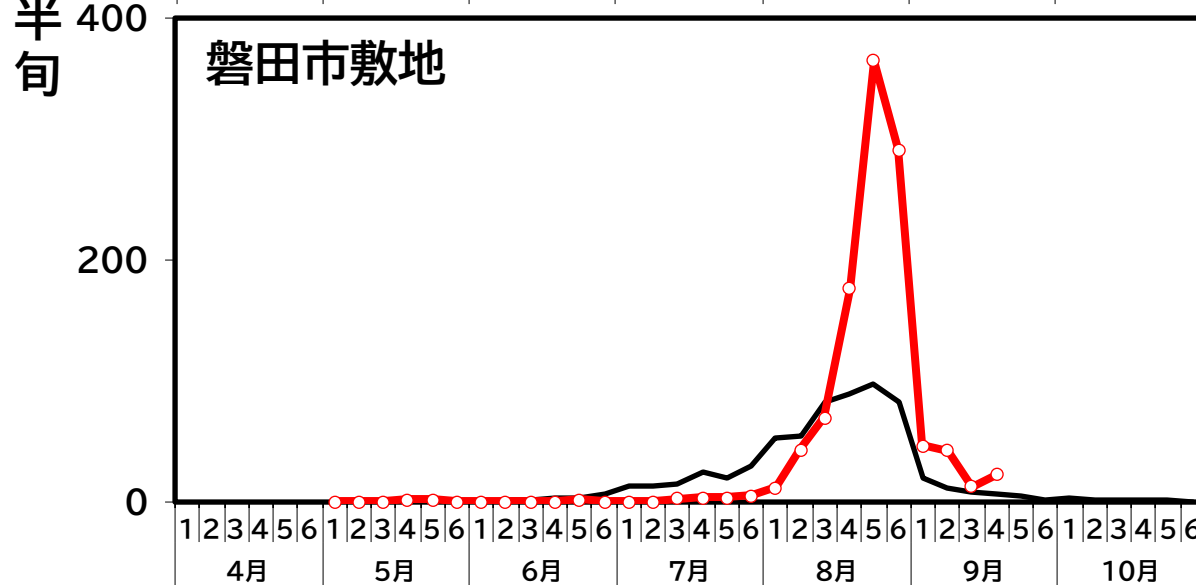
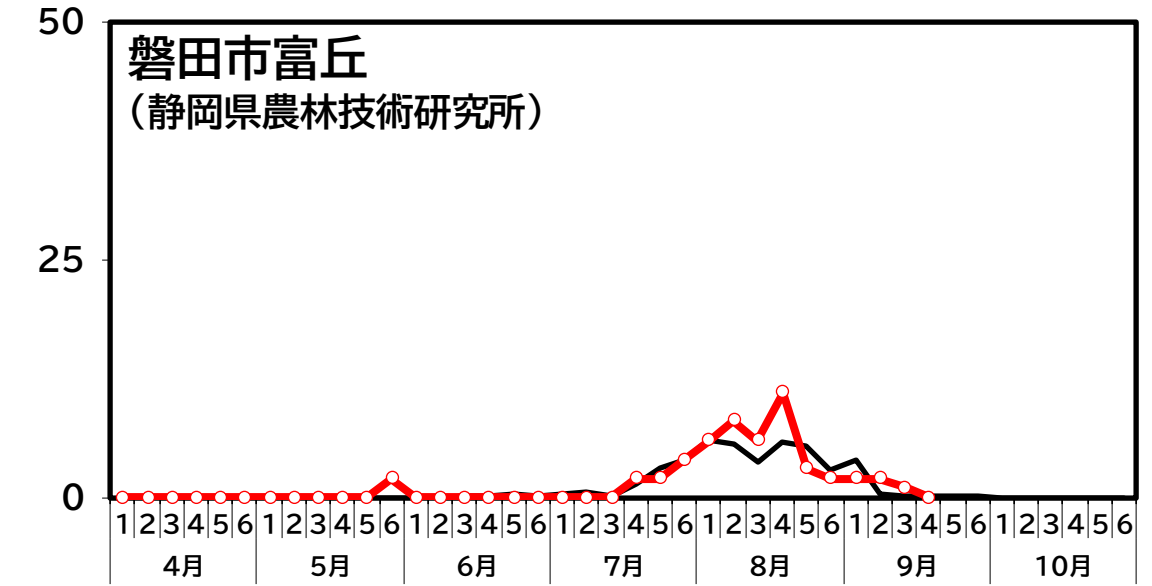
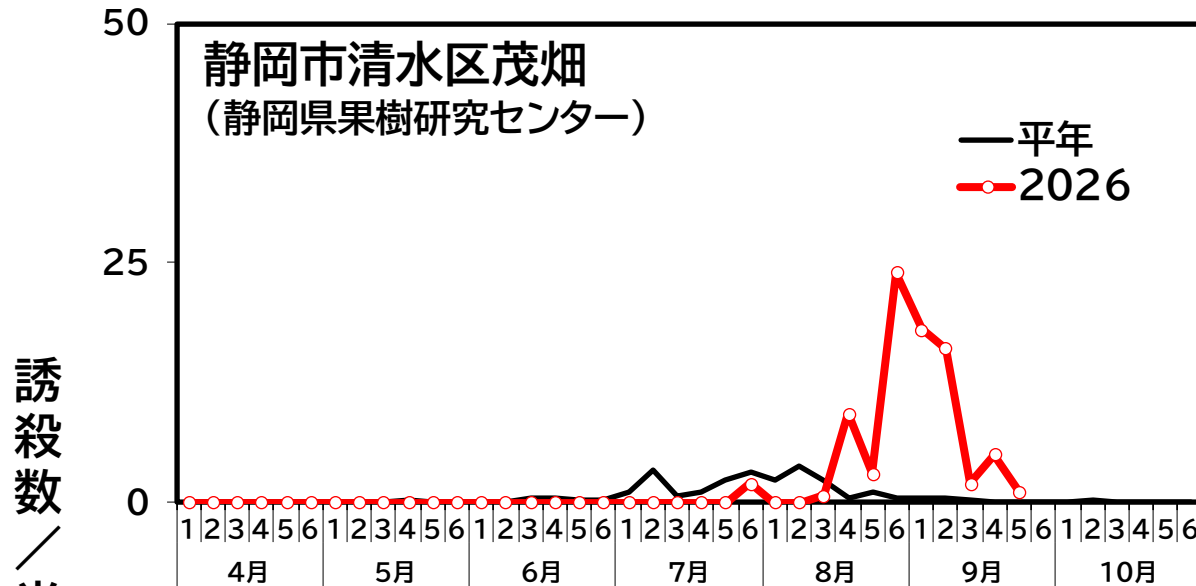
誘殺数
／
半旬







注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。



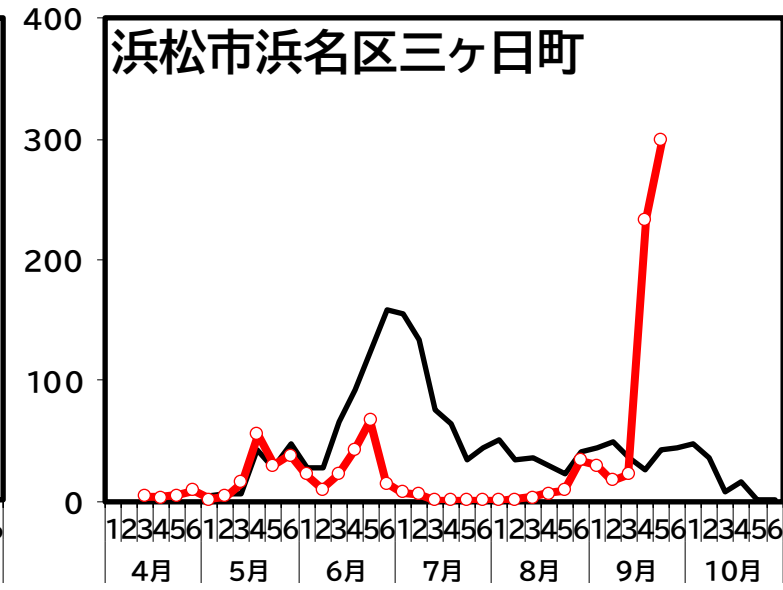
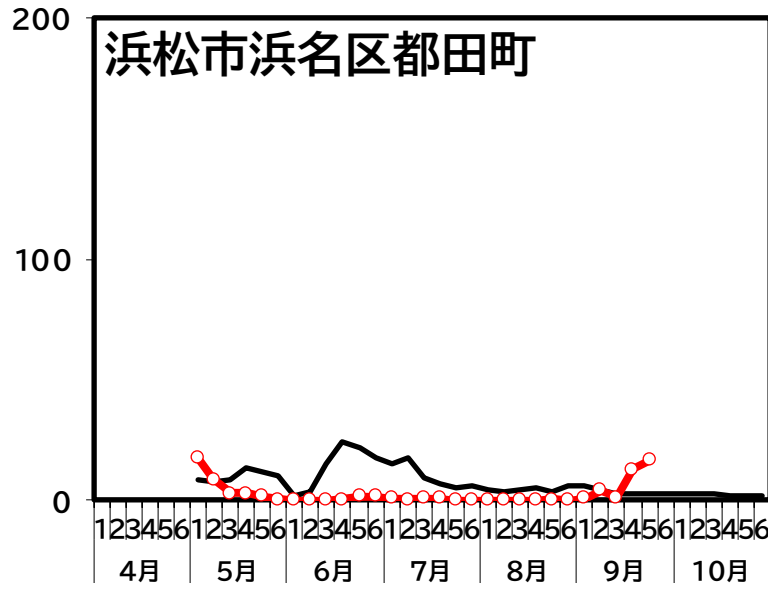
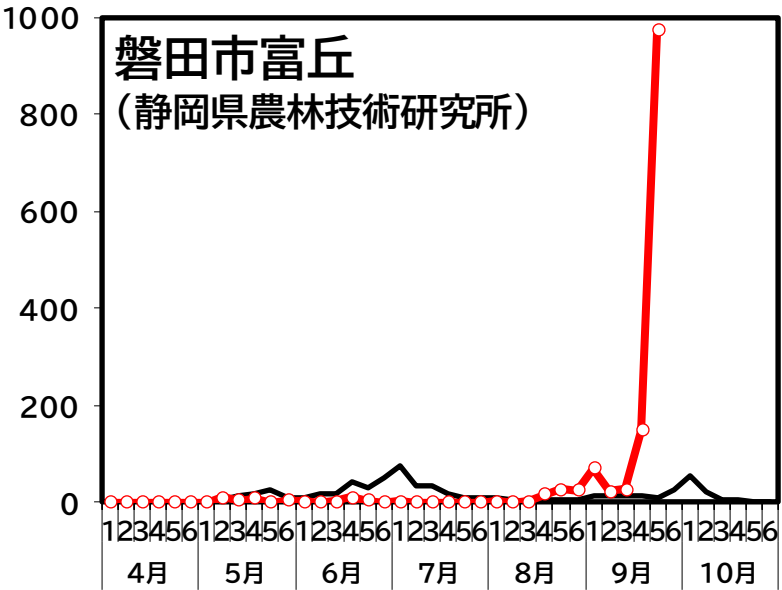
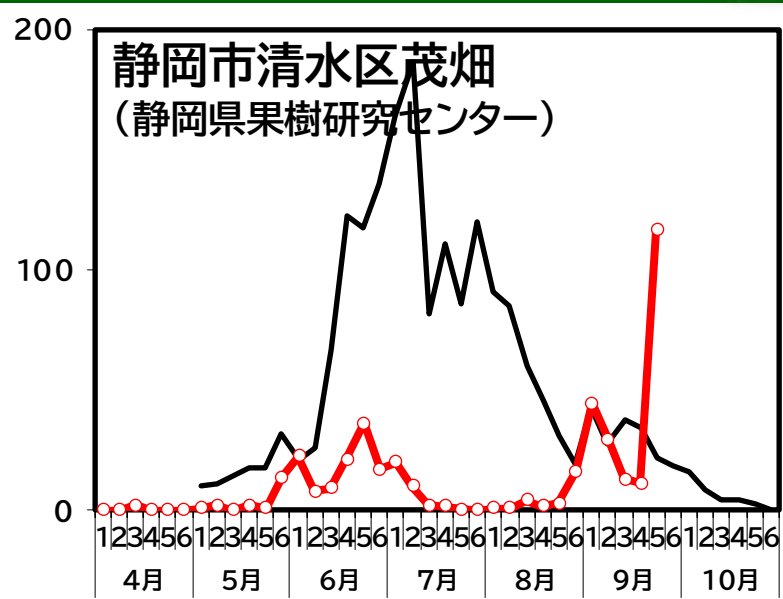
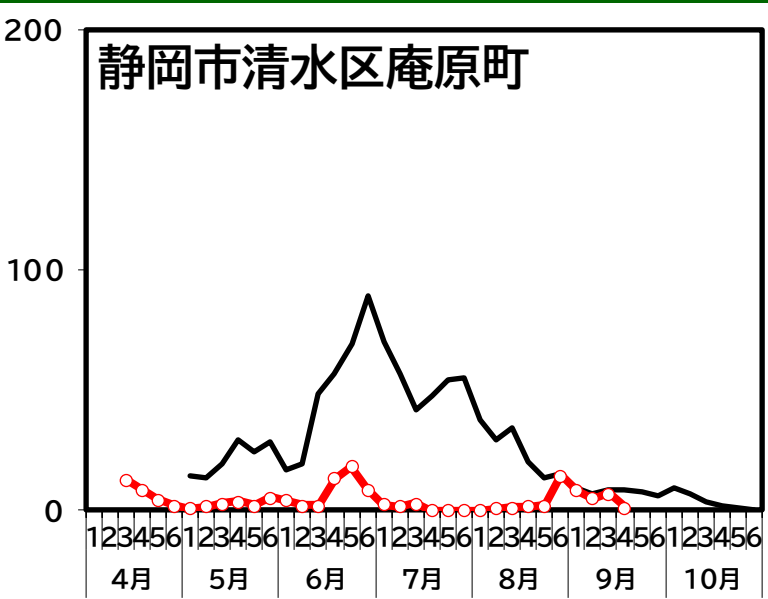
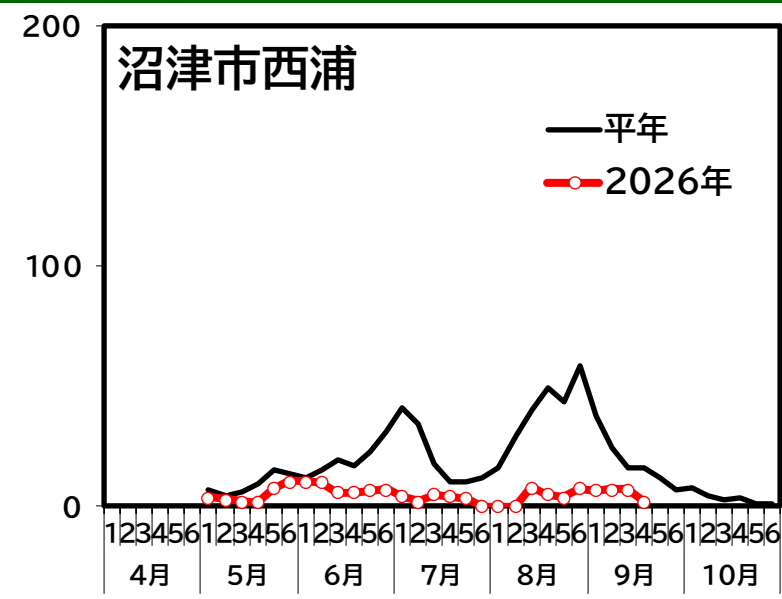


チャバネアオカメムシ フェロモントラップ 2026年



注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

誘殺数／半旬



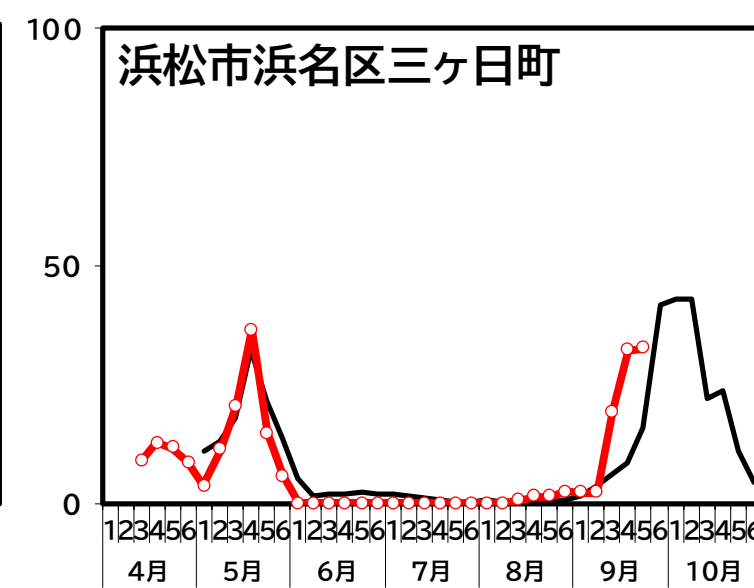
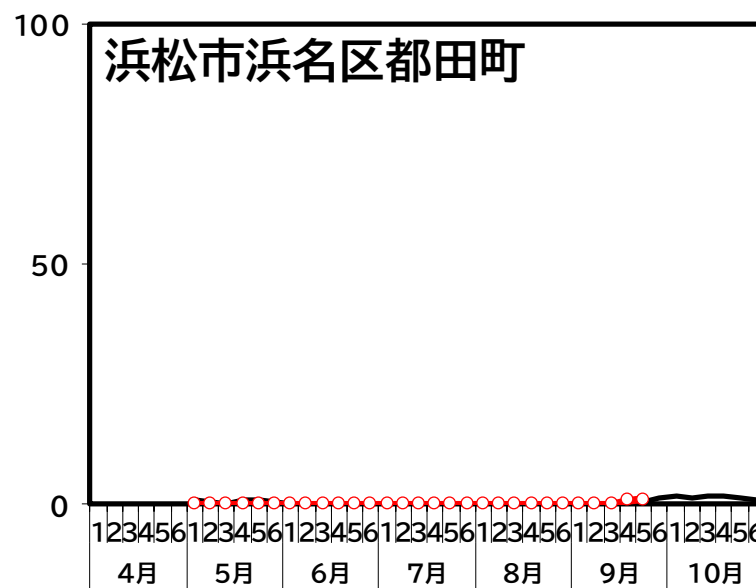
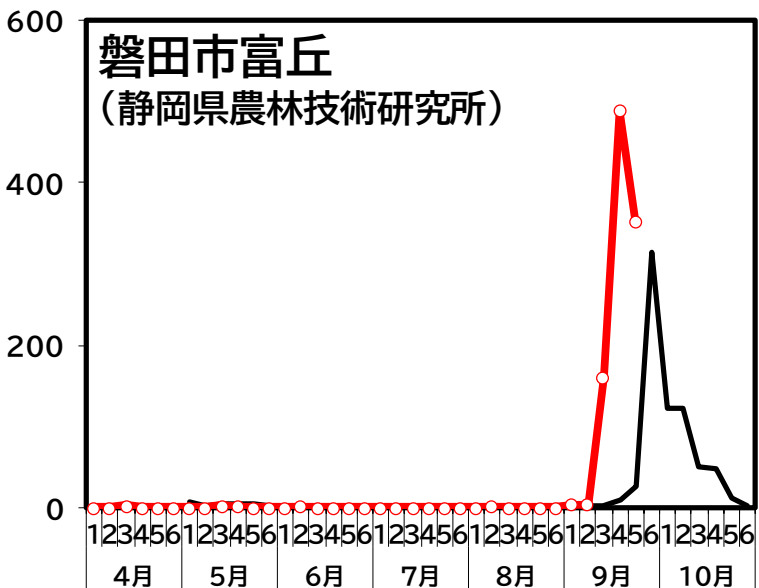
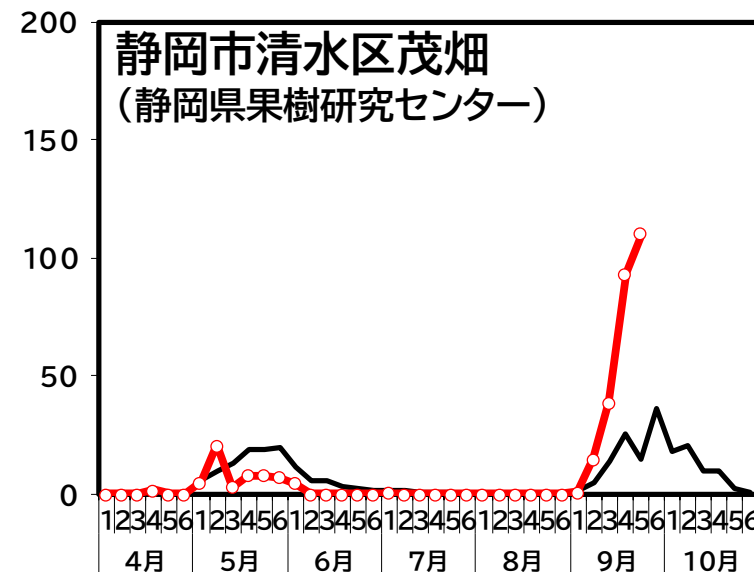
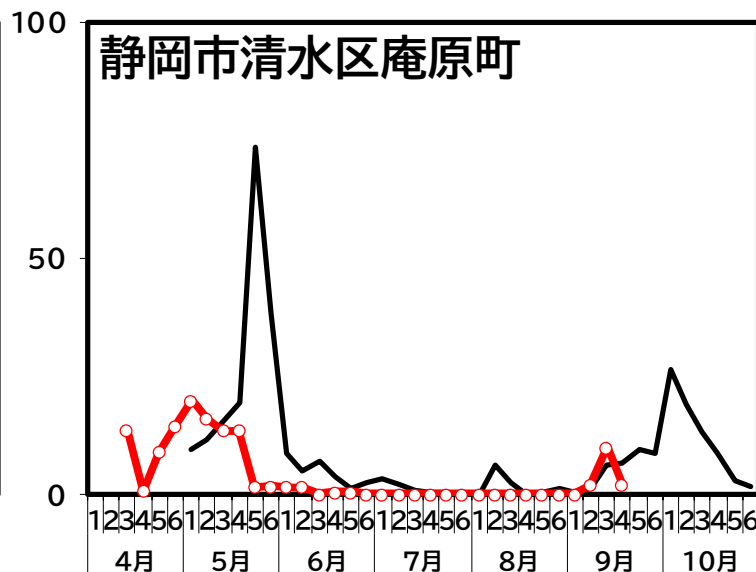
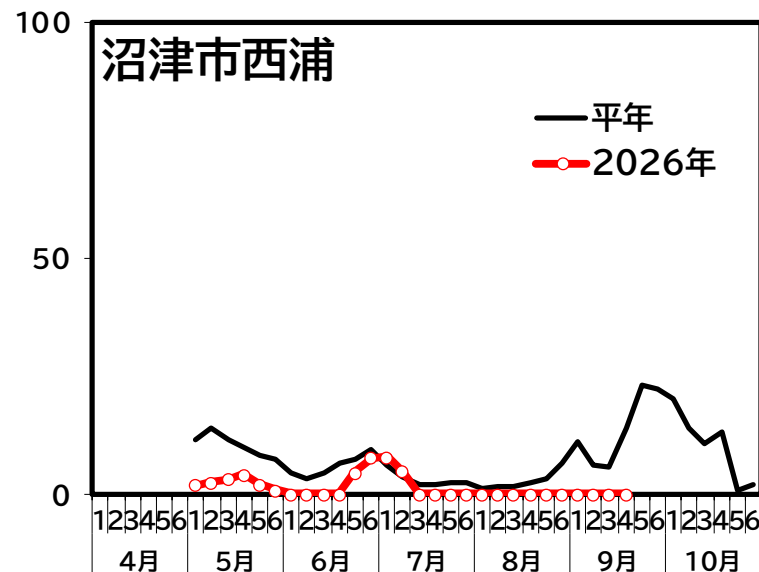


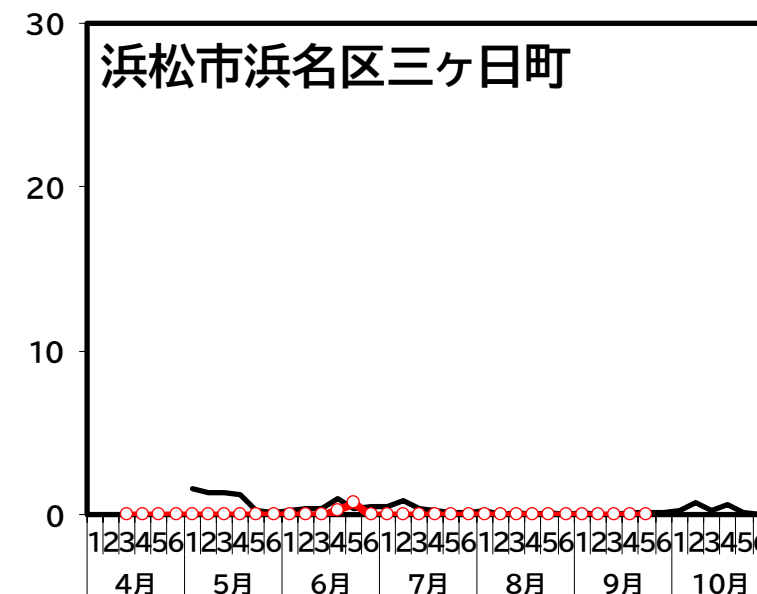
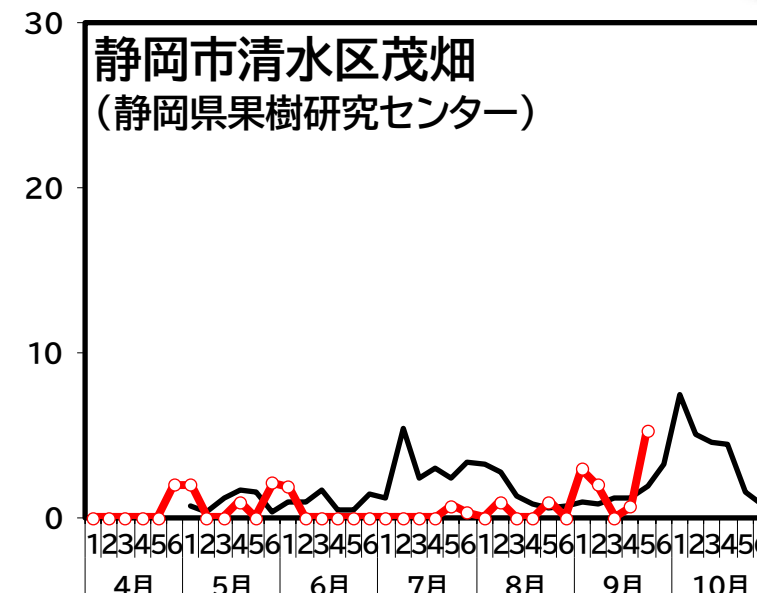
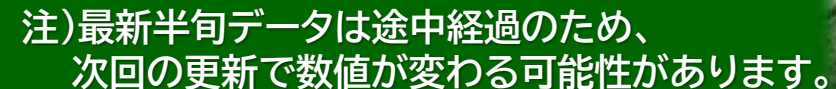
ツヤアオカメムシ フェロモントラップ 2026年



注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

誘殺数／半旬

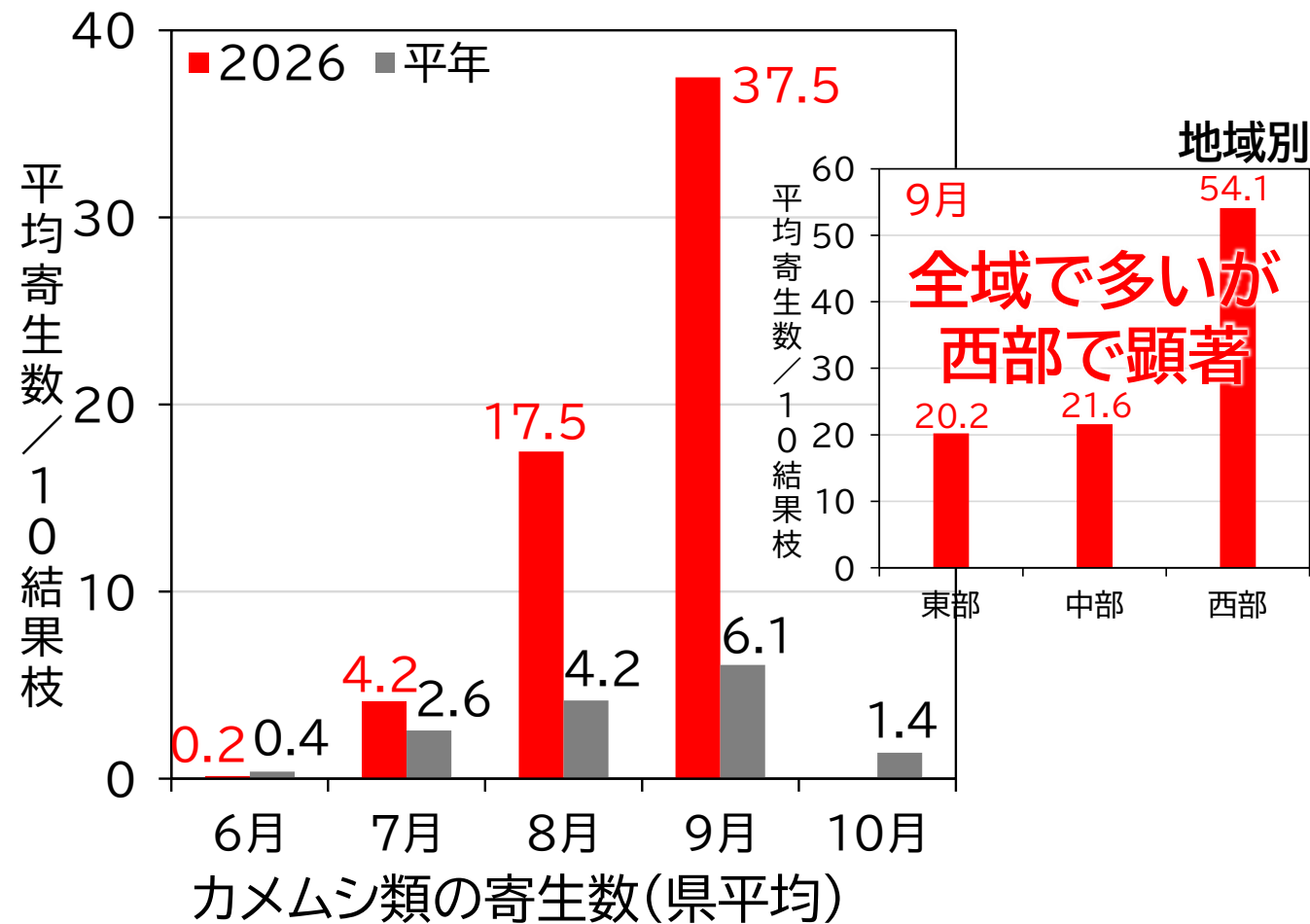




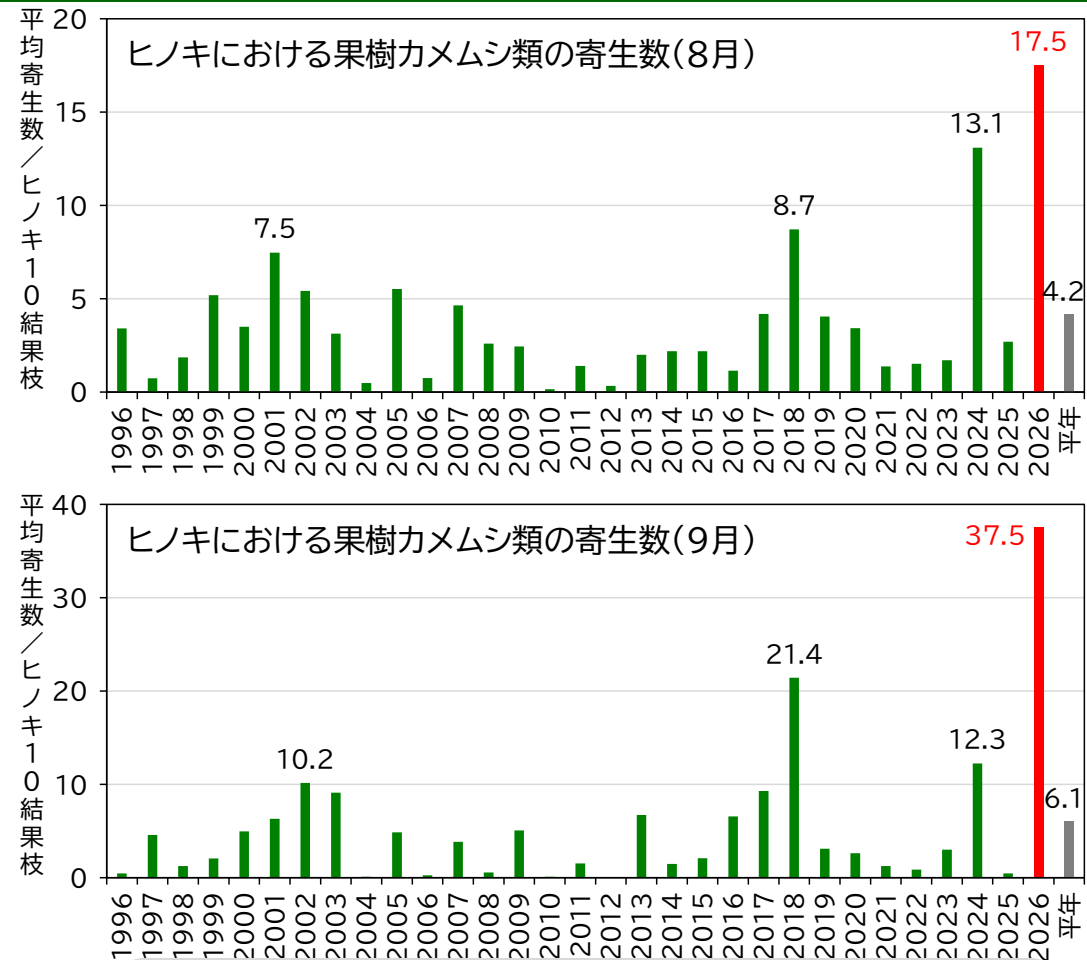
誘殺数／半旬



ヒノキ球果におけるカメムシ類寄生数



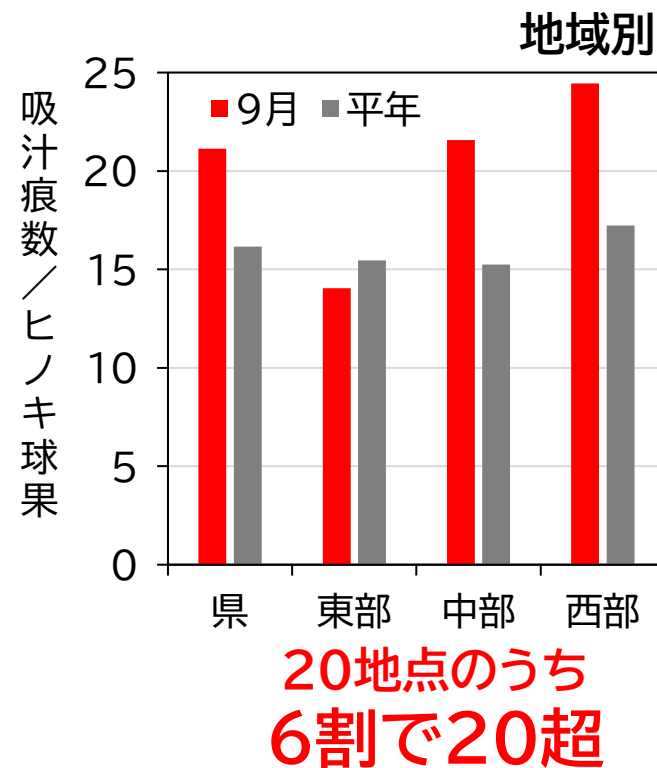
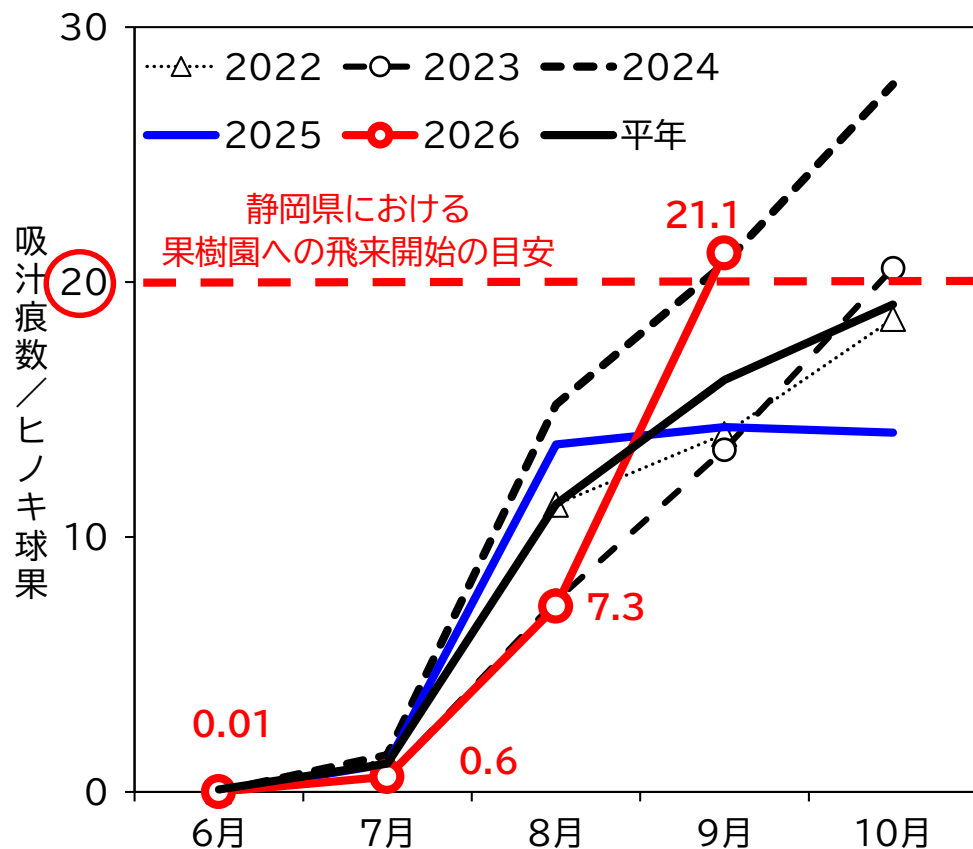
9月上中旬における寄生数は37.5頭／10結果枝
(平年6.1頭)と**平年より多かった**



9月における寄生数としては、
1996年以降で**過去最多**

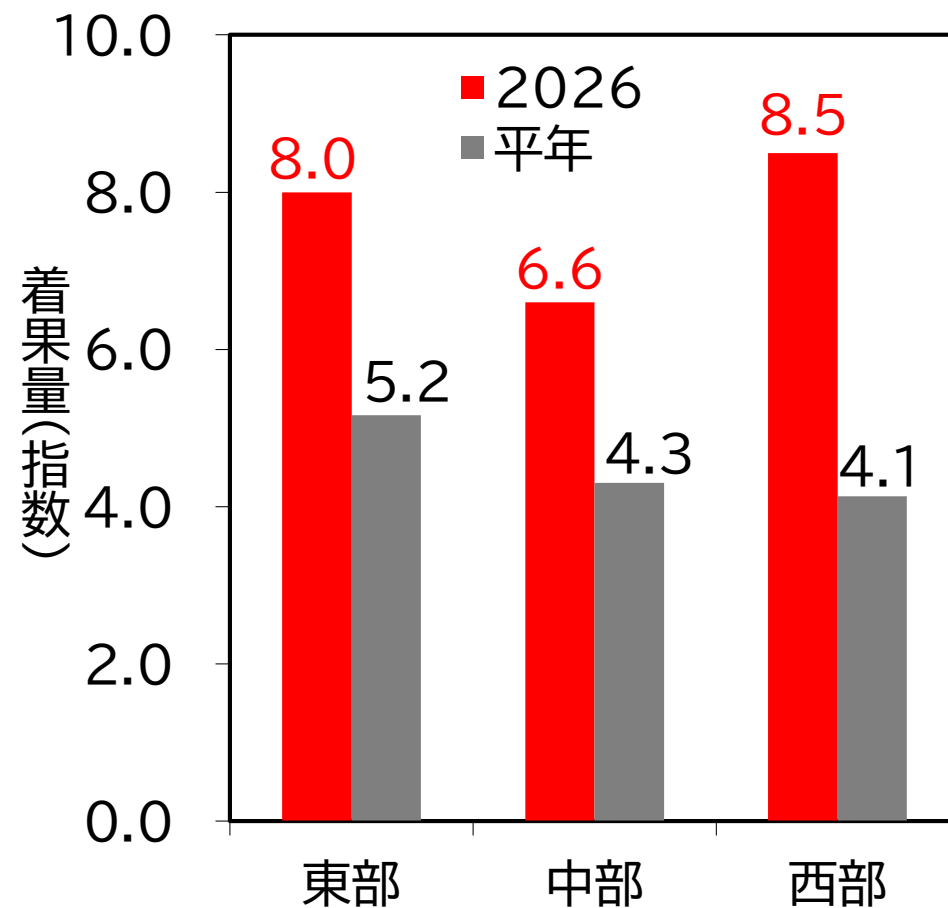
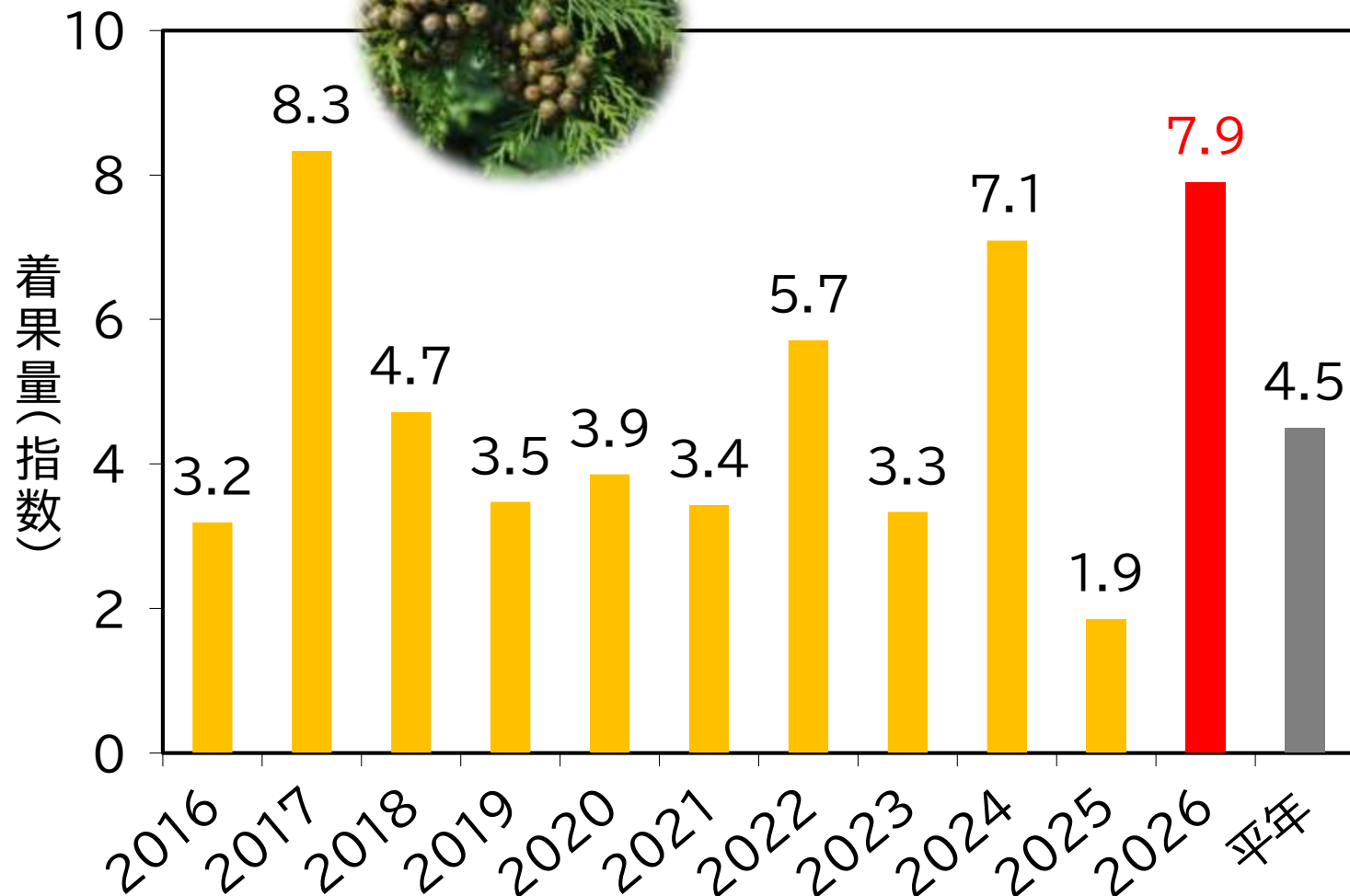


ヒノキ球果におけるカメムシ類吸汁痕数



9月上中旬における吸汁痕／球果は21.1(平年16.2)と**平年より多かった。**
吸汁が急速に進んでおり、多くの地域(特に西部・中部)でヒノキからの離脱が始まっ
ていると推測される。

ヒノキ球果(実)の着果量



2026年におけるヒノキ着果量は**平年より多い**

(果樹カメムシ類は球果を餌として増殖 → **着果量が多いと新成虫の増殖は助長**)

（参 考）

- **カメムシ類の果樹園への飛来予測日**
- **チャバネアオカメムシの越冬量 2026年**
- **果樹カメムシ類の発生状況 2025年**

カメムシ類の果樹園への飛来予測日 (ヒノキからの離脱予測日)

ヒノキ球果におけるカメムシ吸汁痕数と離脱予測日

地域	吸汁痕数／球果	起点日 (球果採集日)	離脱予測日
東部	1.2	7/17	9/4
中部	0.4	7/14	9/4
西部	0.4	7/13~15	9/3~5
県平均	0.6	7/15	9/5
吸汁痕数が最も多い地点	3.8	7/17	8/26
平年値	1.1	7/13~17	9/1~5

注)堤(2003)による予測式 $y=54.17-3.776x+0.01937x^2$ をもとに計算

果樹園への飛来予測日

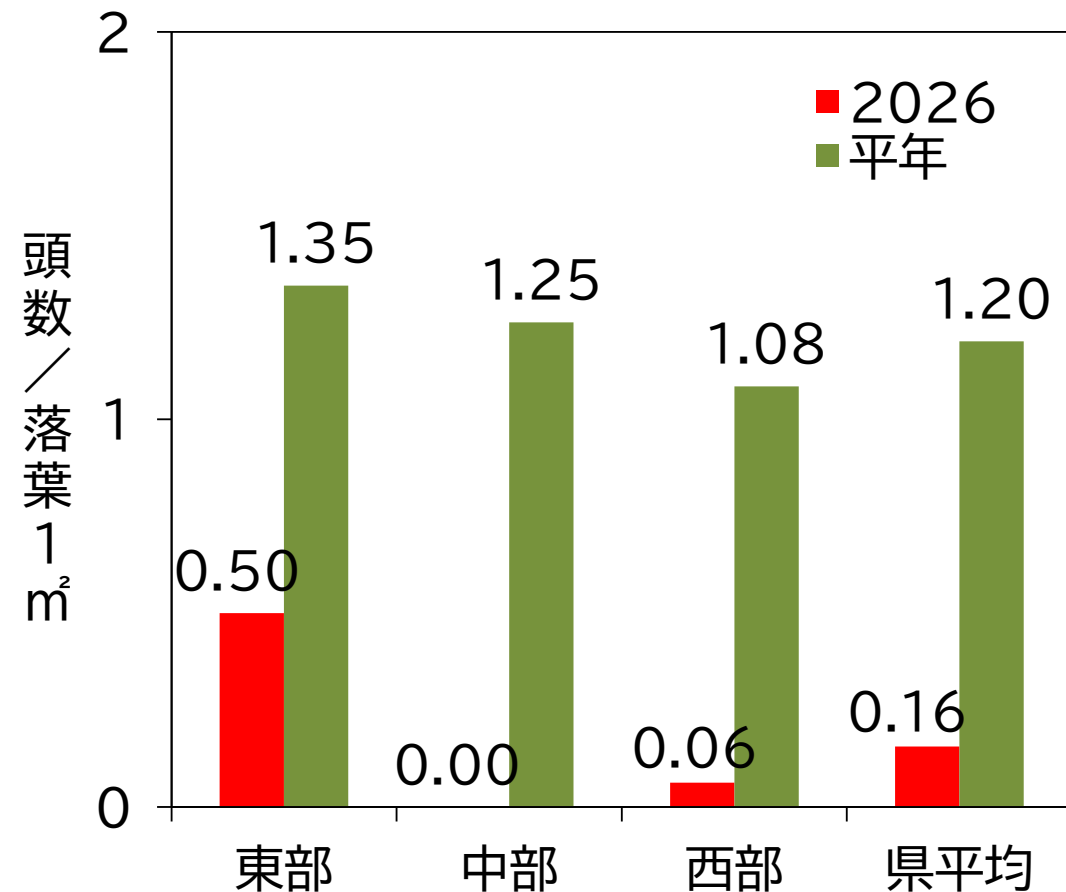
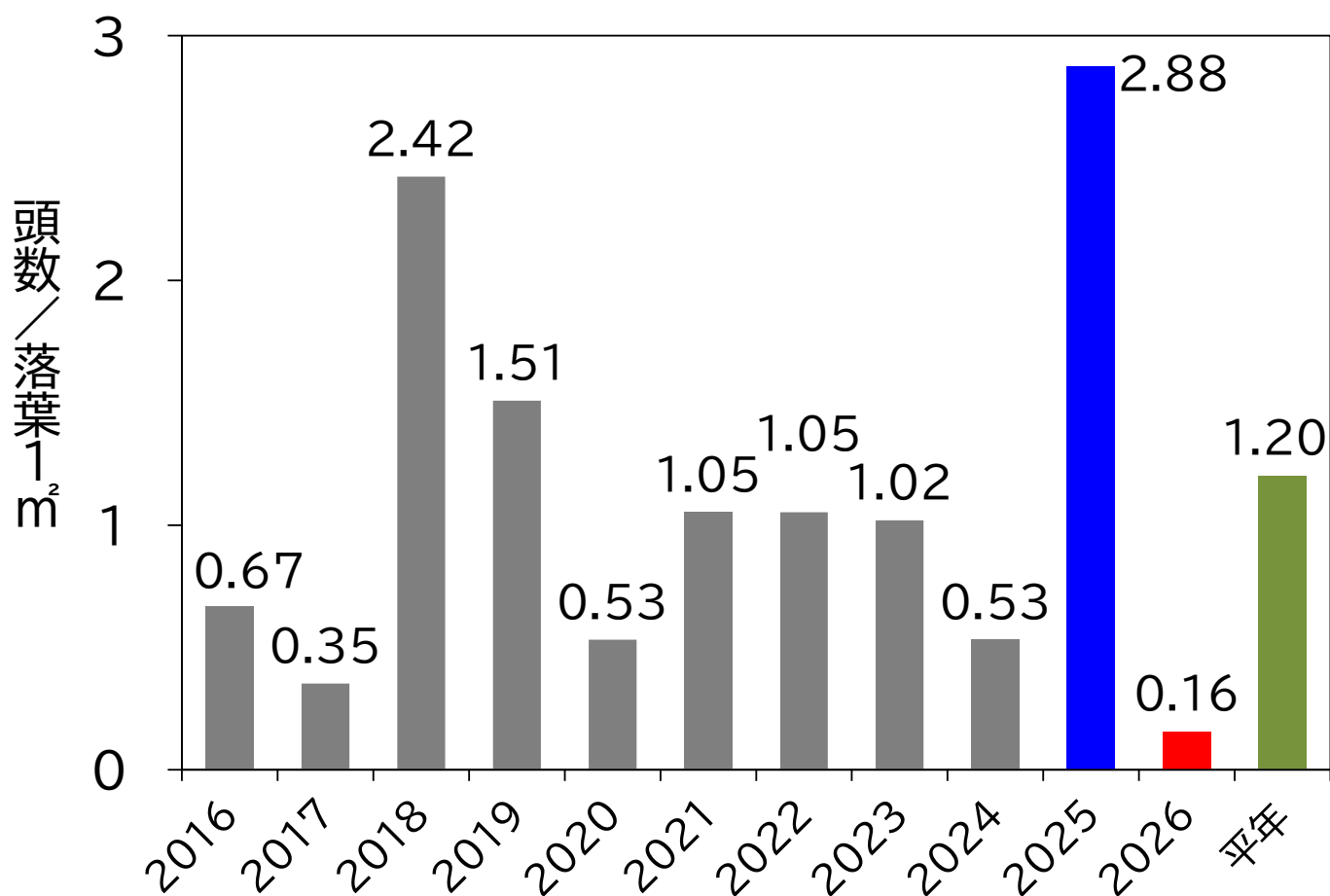
9/3~5 (地域により異なる)

ただし、吸汁痕数が最も多い地点では**8/26**





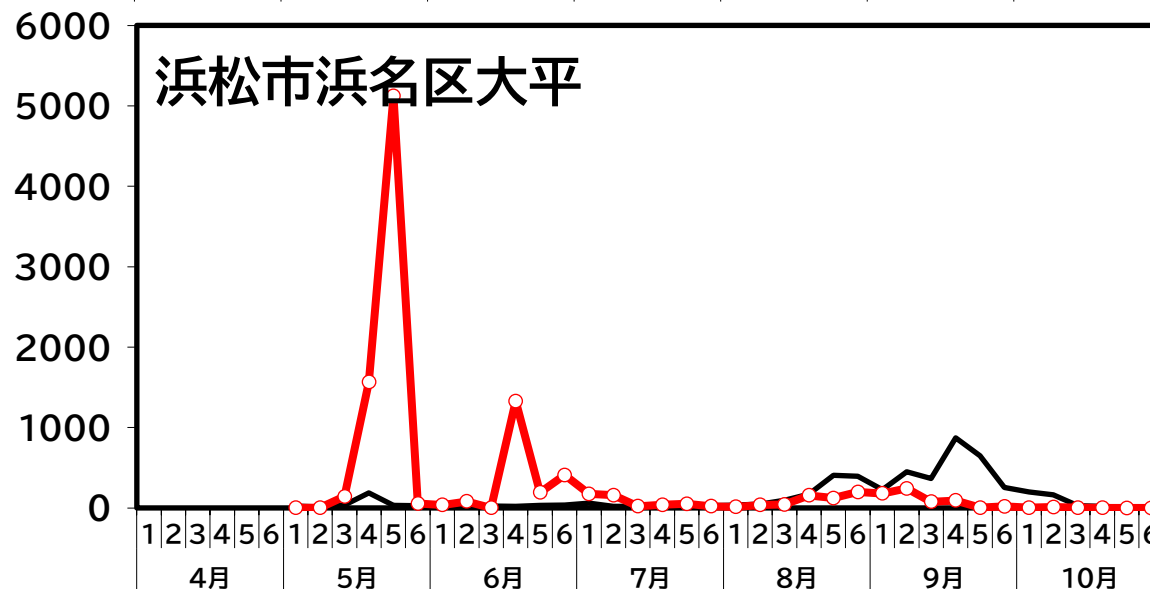
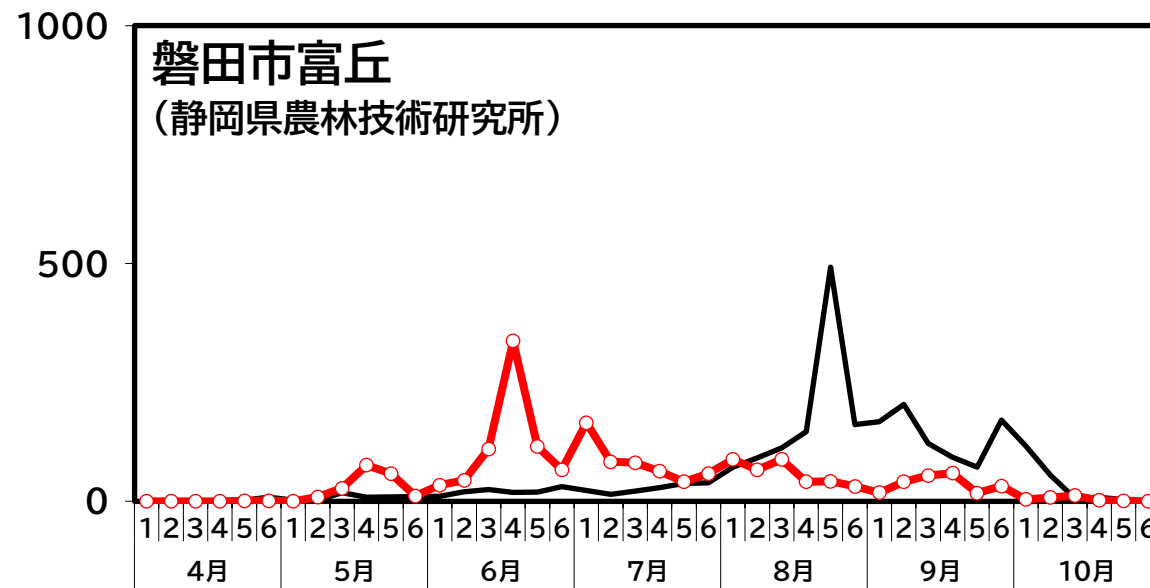
ジャバネアオカメムシ越冬量 2026年

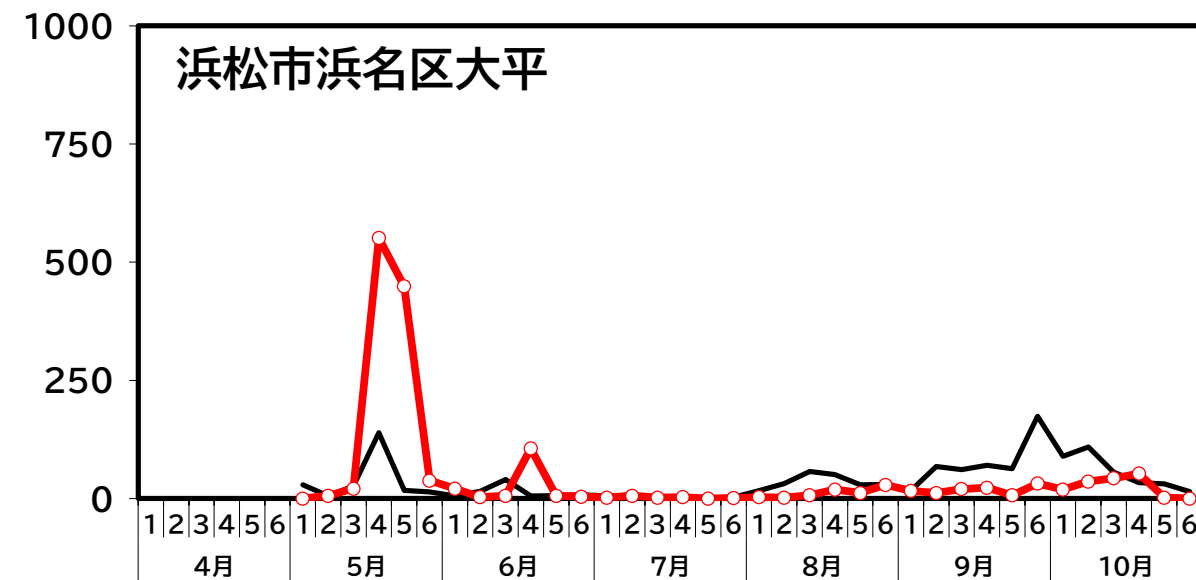
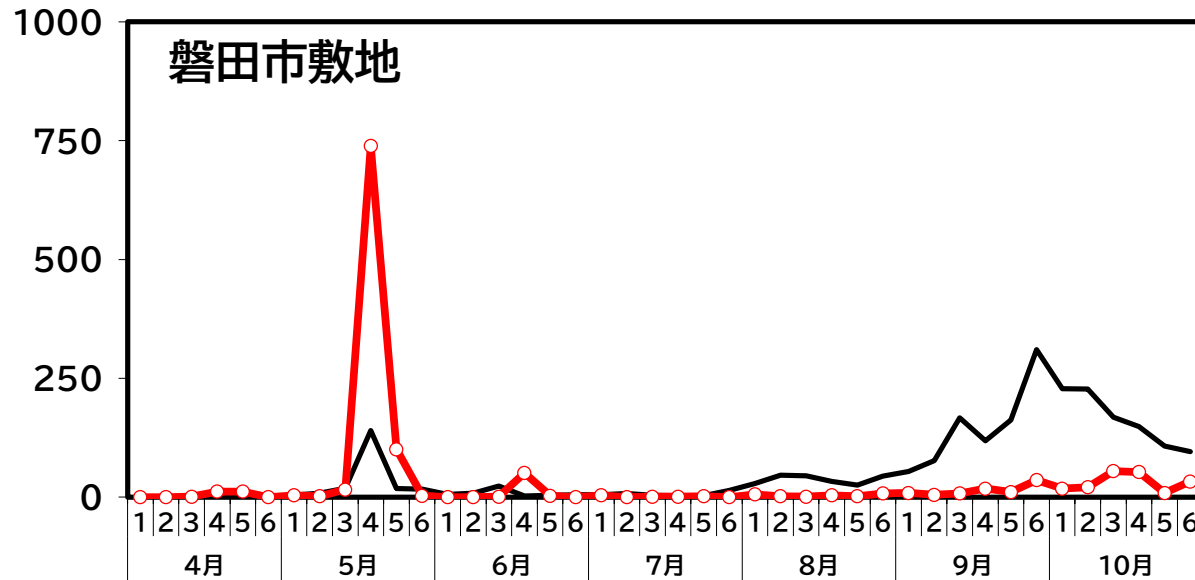
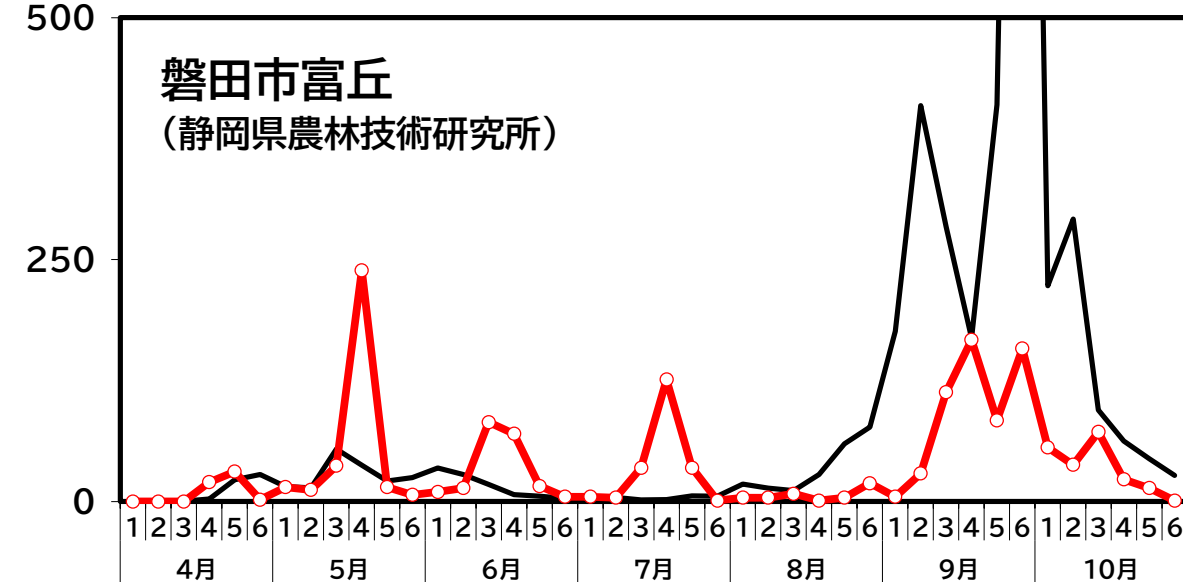
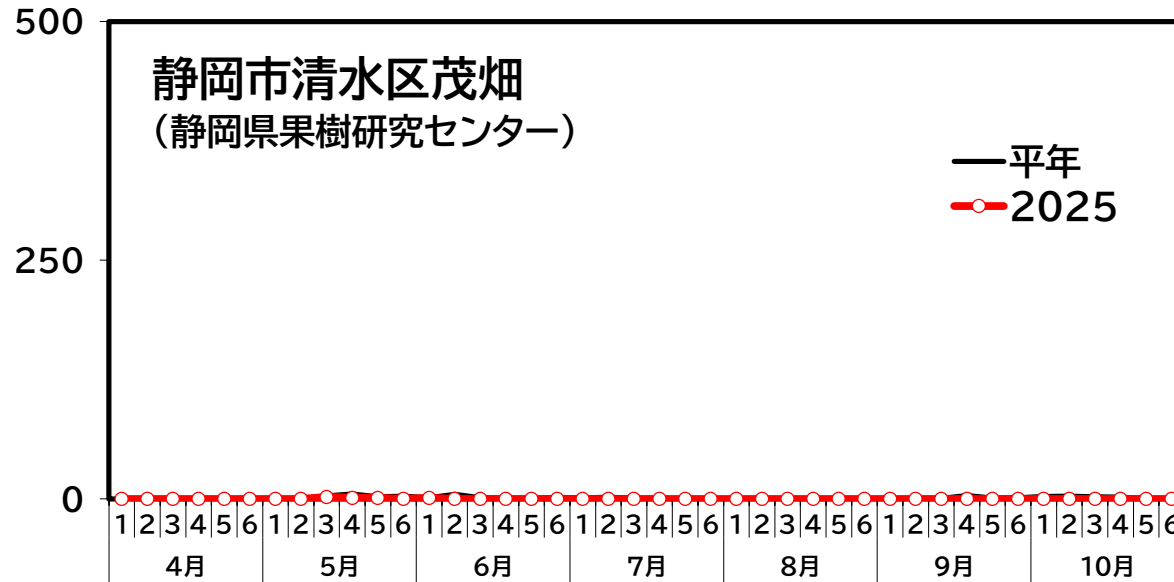
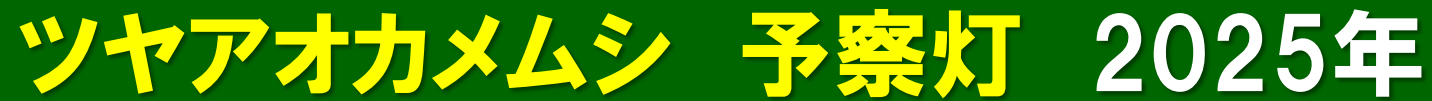


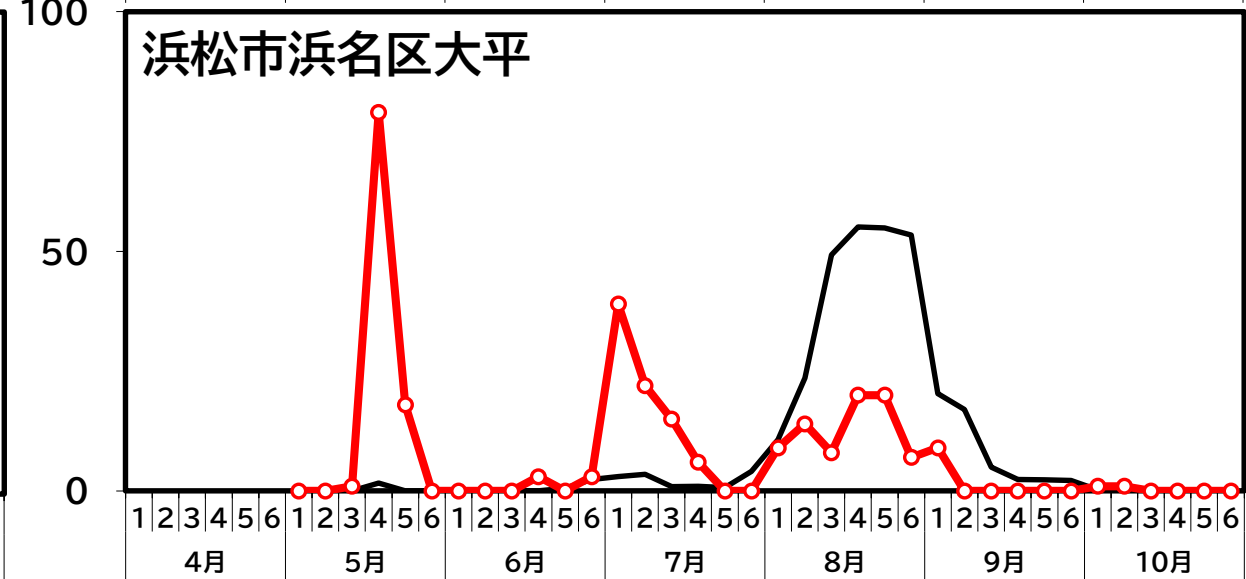
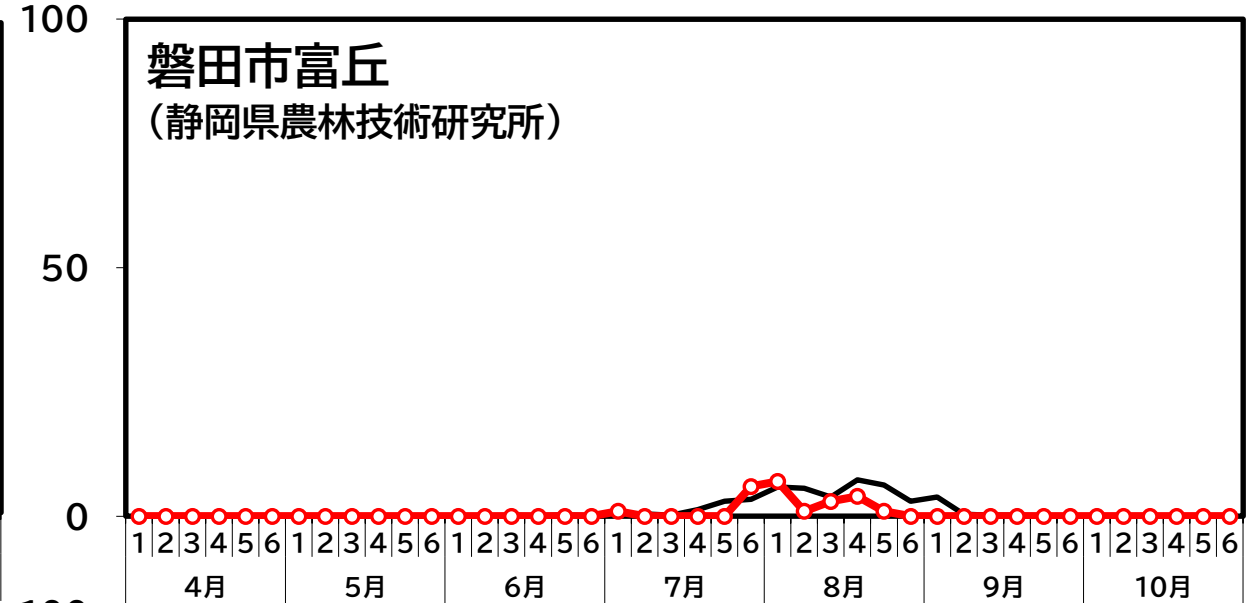
ジャバネアオカメムシ越冬量は**平年より少ない**



注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。







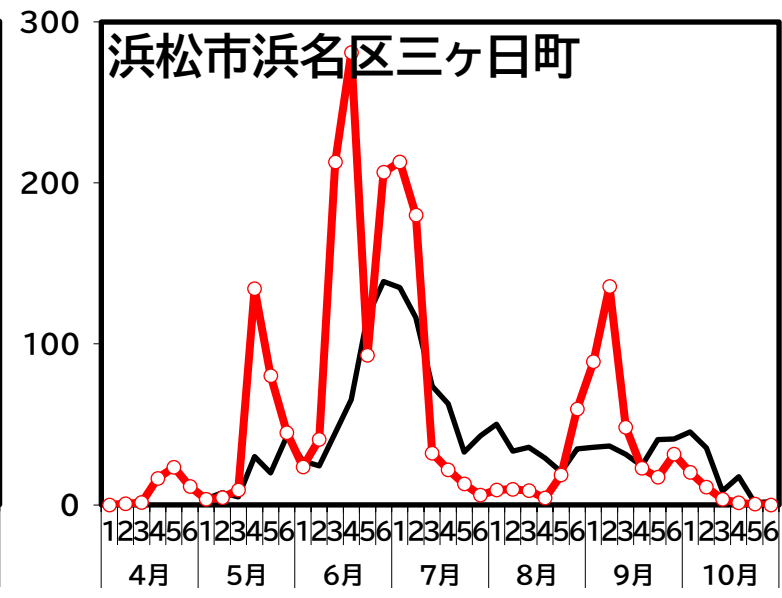
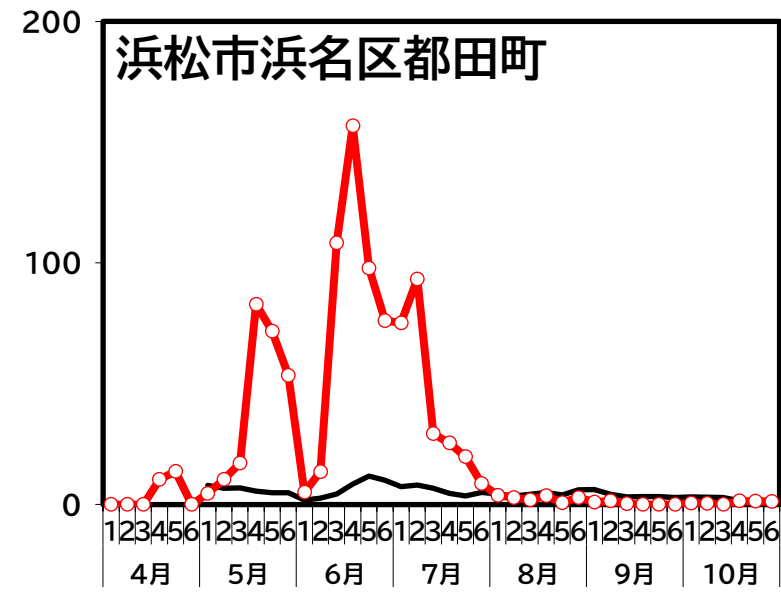
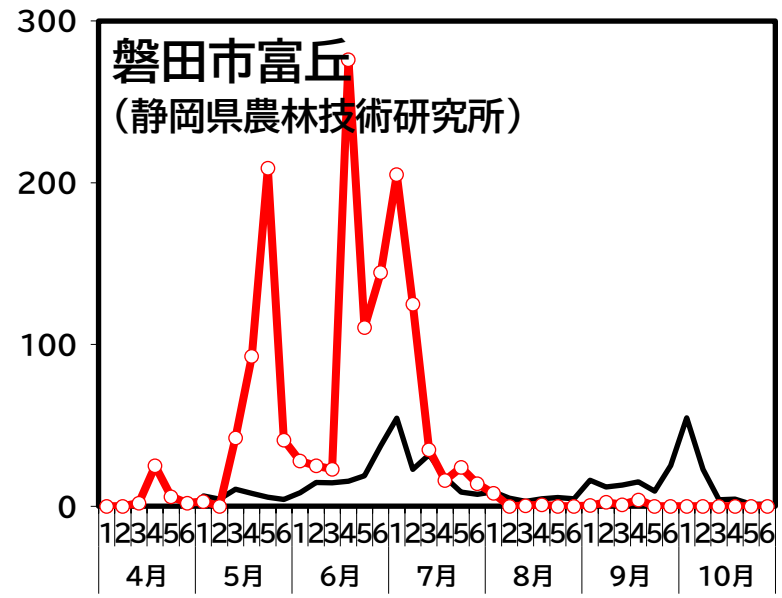
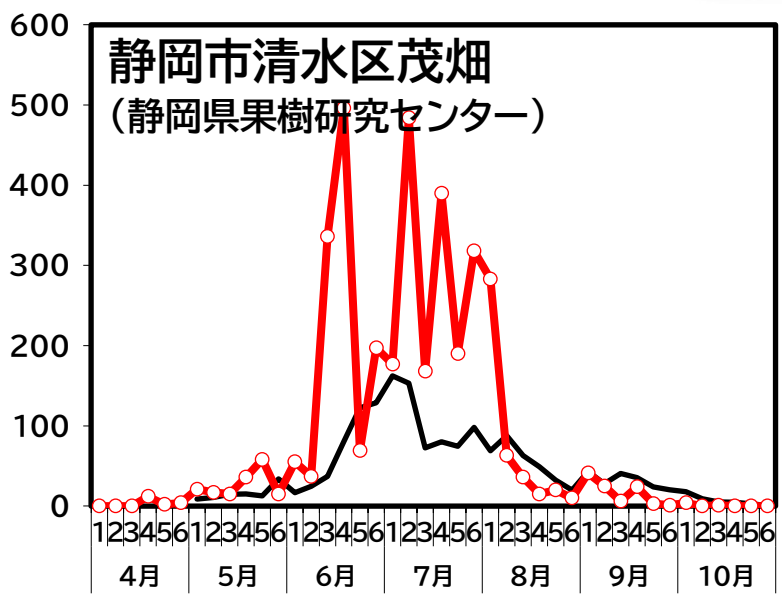
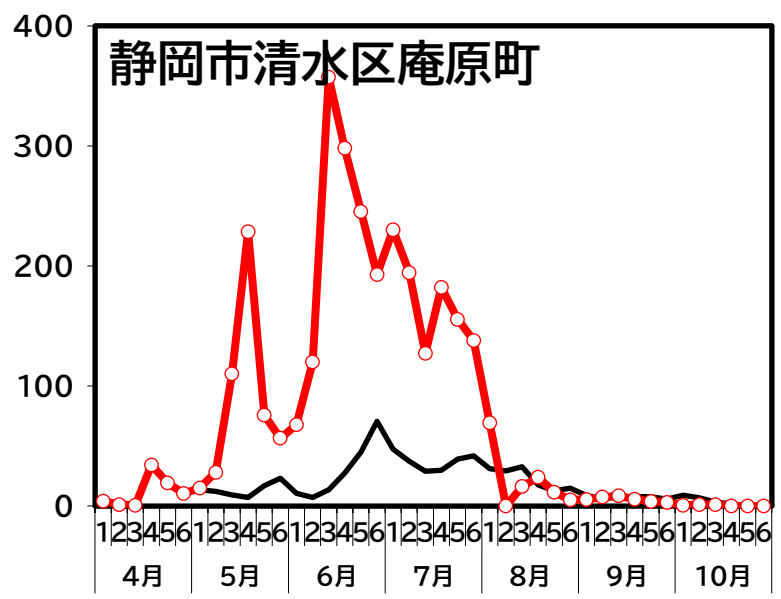
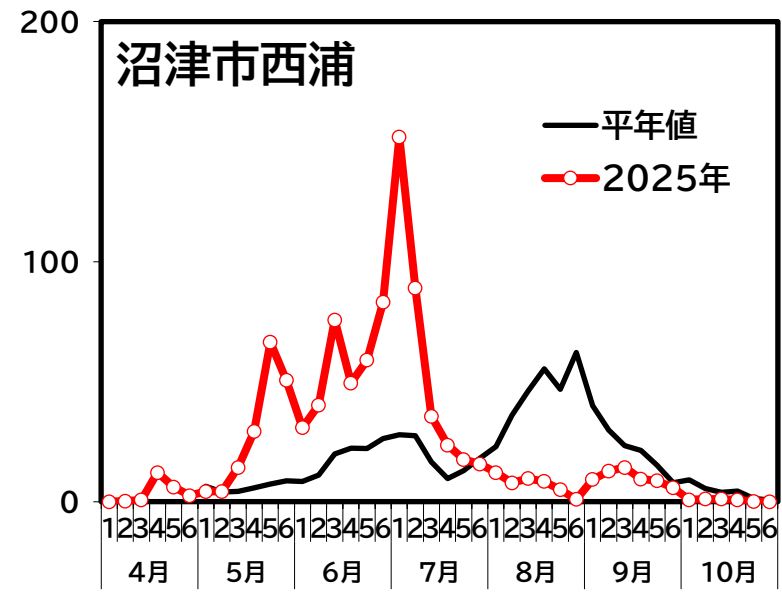


チャバネアオカメムシ フェロモントラップ 2025年



注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

誘殺数／半旬



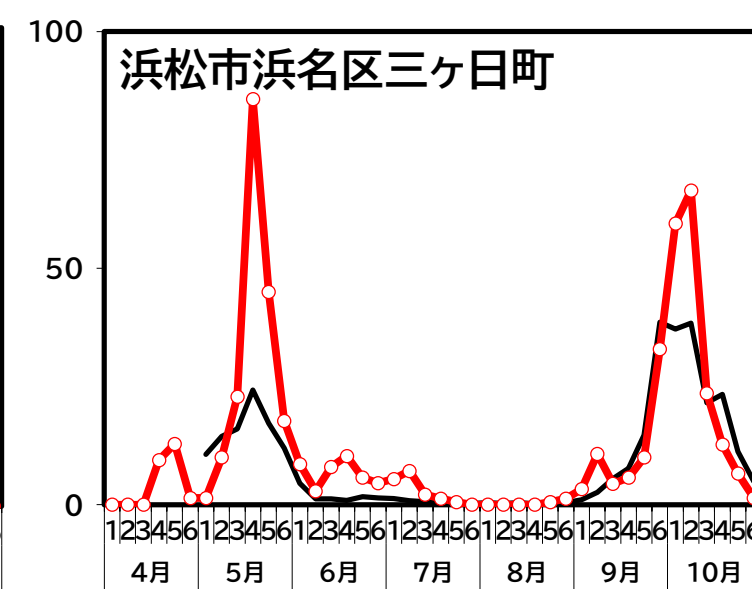
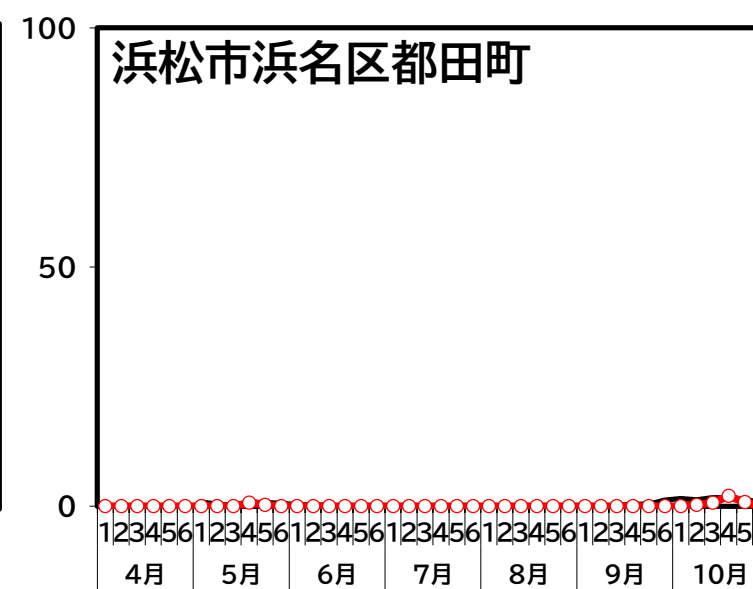
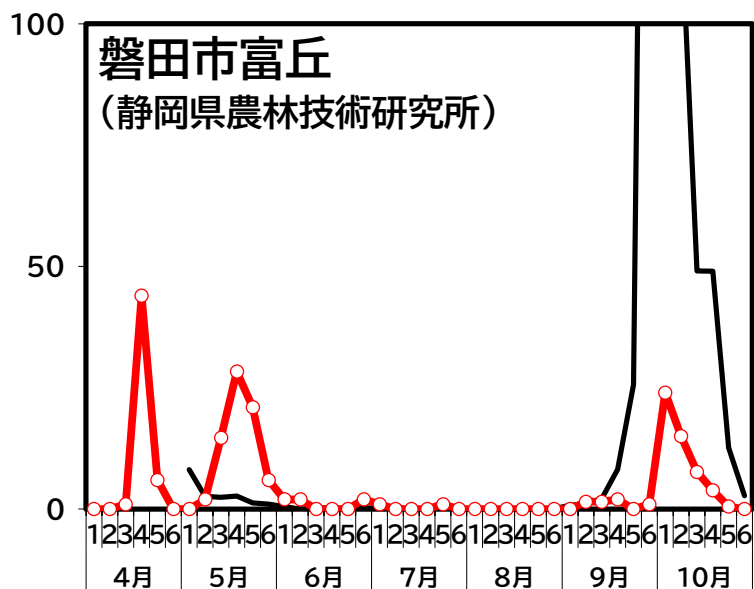
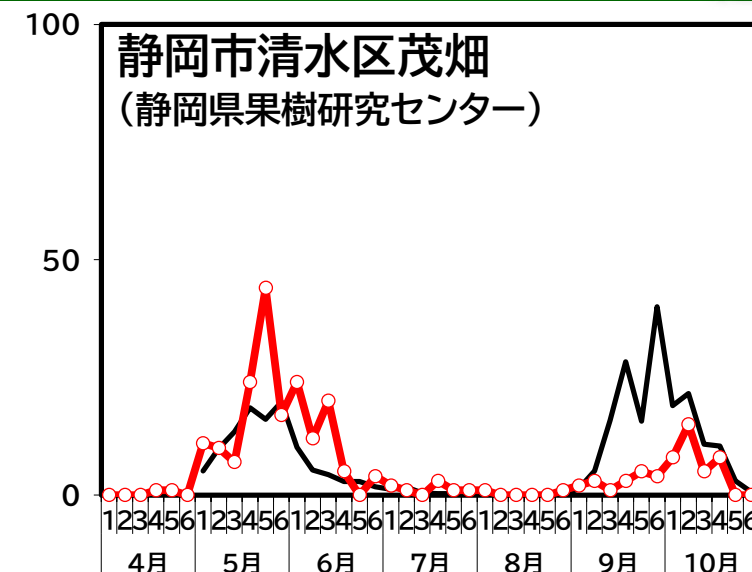
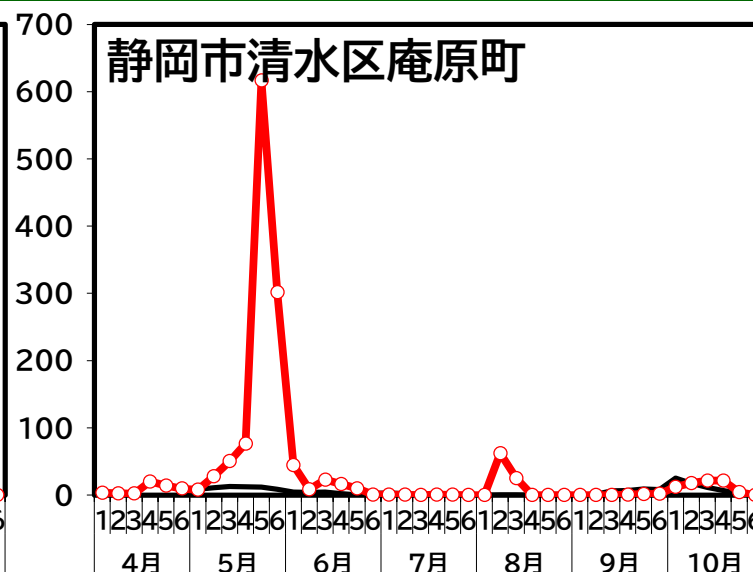
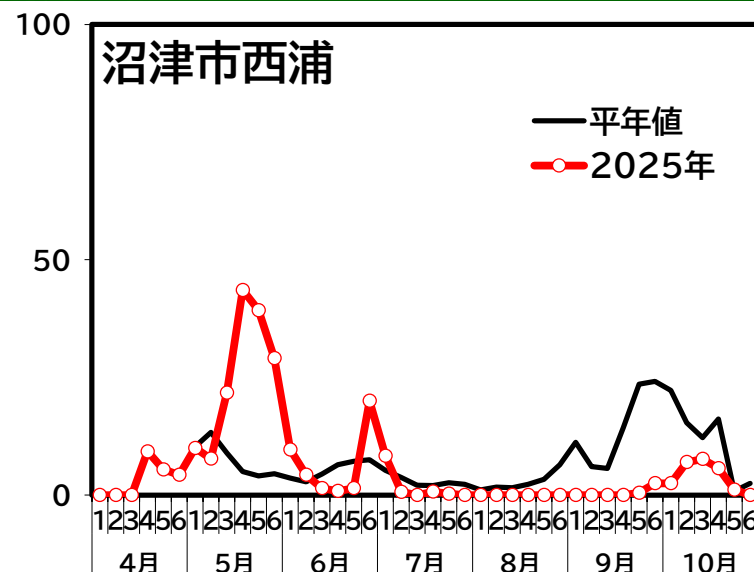


ツヤアオカメムシ フェロモントラップ 2025年



注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

誘殺数
／
半旬





注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

